

夏 冬 とち

夏も近づく ハナハ夜

野にも 山にも 若葉がしげる

あんに 見えるは 茶の子じやな、か

赤い 夕すき に スキのカサ也

お茶時 珠が家にも 茶葉が果た

夏やがかなと

自分や着て いるものを 見ろ

今朝は さむい

エア コニ はヒウリてい ます

床だり も入れた

さむくて 冬やうた

半紋にるよと

今や 夏や とすの

一日び 冬も夏もする

天気予報に こそやうううな

と青のどくに今

こんな年は ほいり

手と地球 病者 と思つて

一月の半に夏 冬 かまうても いいとさう

と言ふ才の

夜の市田は困

コツとしてと

市田に入つた時のすゝと足をあげた場

中殿 しい音持

出来たため音おつくと さむい

冬は白つらて乗ら

冬 夏 どちらかにしてほい

2016
4/23